

訪問看護多機能部会かわらばん

VOL. 1

訪問看護多機能部会
2024年9月1日

聞きたい知りたい 運営に係る Q&A

“看多機の広域利用について”

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、「看護小規模多機能型居宅介護の広域利用に関する手引き（以下手引きと記載）」を、厚生労働省が取りまとめています（令和6年2月22日 介護保険最新情報 Vol.1206）。これは、「サービスの利用機会の拡充を図るため地域密着サービスとして、どのような地域であっても必要な方がサービスを利用しやすくなる方策や提供されるサービス内容の明確化など、更なる普及を図る方策について」示されたものです。つまりは、もっと看多機を普及させて、そのためには広域で利用できるようにしてあげてください、と厚生労働省が市町村・都道府県に向けて取りまとめたものです。

この手引きの中には、①手引きの使い方、②看護小規模多機能居宅介護の概要、③看多機の広域利用について（参考ケース3つ載っており、どのような方が広域利用を必要とされているかを紹介。また指定に係る具体的な事例や提案を記載）④区域外指定における事前同意に係る取り組みの具体例が記載されています。

私たちが看多機を運営するものとして、一度目を通しておいた方が、各市町村とも協議しやすく、また利用者様を確保する際に、今後は「他市だから利用できない」とはなりませんよね。指定に係る担当の職員さんもこの手引きについて、ご存じでない方も多く、問い合わせでも許可が下りないこともありますので、「介護保険最新情報 Vol.1206 をご覧になってください」と声掛けすると実際検討していただいた事例もあります。ご参考まで。

ヒーリングライフ志宝 安田

ニュース速報

「訪問看護多機能部会」へ 名称変更♪

今年度より看多機交流会が「訪問看護多機能部会」に名称を変更いたしました。

訪問看護師が看多機以外にも地域に密着し様々なところで活躍されていると思います。看多機をはじめとし、その他サービスの現状を知り、周知などにも繋がればと思っております。情報共有、意見交換を行いながら、さらなる活動に力を入れていきたいと思っております！

新理事より

訪問看護多機能部会担当理事を拝命した、高槻みらい訪問看護ステーションの濱田です。訪問看護の経験を活かした制度外施設ナーシングホームみらいのいろ(小児から老人まで、看取り、難病、医療的ケアのある方が対象)を運営しています。喜びも苦しみも利用者と共に！職員一同日々、力戦奮闘中です。

<今後の予定>

10月29日（火）15：30～
仙台より講師をお招きし、
「実践から学ぶ！利益をもたらす看多機
経営 運営のヒント」と題し研修会開催
予定です！ZOOM 開催です。

案内は、
大阪府訪問看護ステーション協会ホームページ
からです。お楽しみに♪

皆さんの事業所では どんな地域活動を されていますか？

この度の介護報酬改定で、サービス提供強化加算のなかの算定の中にもありますが、地域活動を自主的に行う・研修・事例報告など、活動内容は様々。日頃より運営推進会議で地域の皆様と意見交換や情報共有・共同活動をされていると思いますが、実際の活動を報告していただきたいと思います。今回は青山 Nursing care 羽曳野 山内様より報告いただきます。

藤井寺市の高齢介護課主催の体操教室を毎月開催しています。6月のテーマは「転倒予防」足腰が弱ってきてつまずきやすくなることによる転倒・骨折予防のために毎月開催しています。理学療法士によるリハビリテーションです。



看護小規模多機能型居 宅介護でこんなサービス を行っています

看多機といっても、どんなサービスが提供できる？ほかの事業所の様子を知りたい！と思っておられる方も多いのではないのでしょうか。

今回は、リエ工訪問看護ステーション美原の横田様より実際のサービス内容をご紹介します。

【退院後の介護不安への対応】

元気なお母さんが脳梗塞を発症。ほぼ寝たきりで胃瘻造設となりました。家族様は、退院後の介護に不安があり看多機で宿泊継続。介護の練習を行い、リハビリを受け車いすで過ごせるようになりました。介護に自信もでき自宅で過ごせるようになりました。看多機と自宅を行き来して日々を送ることが出来ています。

【介護と仕事の両立】

息子様と2人暮らし。息子様の仕事の時間に合わせて平日は通いや宿泊の利用、週末は自宅で過ごされていました。高齢で自宅で過ごす際の介護負担が大きくなり、宿泊利用を継続、最期は老衰のため看多機でお看取りをしました。

【退院後の中間施設】

A ケアマネージャーが担当していた利用者様。脳出血を発症し、半身まひ、むせ込み強い状態となりました。退院後は看多機で宿泊継続し、介護練習やリハビリを受け、自宅で過ごせるようになりました。結果、看多機サービスは終了し、元のA ケアマネージャーのもと居宅サービスを組み合わせでの利用となりました。

事業所によって体制も様々です。

こんな経験をした・こんなことが困った…など
皆さんで語り合うことで次につながるサービス
が見えてくるかもしれません。

ぜひ交流会でお待ちしています。

